

仙台文学館と仙台市では、「荒城の月」で知られる仙台出身の詩人土井晩翠の遺業を顕彰するため、毎年、記念行事を行っています。一方、宮城学院も晩翠と深い縁を持ちます。晩翠の娘二人は宮城女学校で学び、晩翠自身も英文学講師として教壇に立ちました。さらに同校校歌は晩翠の作詞によるものです。宮城学院が創立140周年を迎える今年、晩翠でつながる両者が共催で、記念イベントを開催します。

第1部では宮城学院の校歌誕生にまつわるお話をお聞きいただき、第2部は、晩翠詩の世界を朗読と歌で味わっていただきます。第3部では「晩翠の詩情をつなぐ」と題し、宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター認定演奏員によるコンサートをお届けします。晩秋の午後のひととき、郷土が生んだ詩人の作品世界をお楽しみください。

《出演》

【第1部】 ミニレクチャー「校歌誕生物語」

大内 典（おおうち ふみ）／お話



宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。ロンドン大学東洋アフリカ学院で博士号（PhD）取得。現在宮城学院女子大学教授、副学長。専門は音楽文化学。特に日本の宗教儀礼における音や音楽の役割を研究。業績に『仏教の声の技一悟りの身体性一』（法蔵館、2016年）〔第34回田邊尚雄賞（東洋音楽学会学会賞）受賞〕、『音紡ぎ—山伏になった音楽学者、風を聴く』（かもがわ出版、2026年）など。

【第2部】 朗読と歌であじわう晩翠詩の世界

茅根 利安（ちのね としやす）／朗読



仙台市出身。1979年劇団LQ150を旗揚げし、バルテノン多摩小劇場フェスティバル優勝、下北沢演劇祭、愛知県芸術劇場フェスティバル招聘などを経験する。1999年宮城県芸術選奨新人賞受賞。2011年東日本大震災を契機に「ココロキンセンアワー」を結成。「カレー屋の女」を韓国、東京、東北各地で上演し、Alice特別賞を受賞。笠井賢一演出「言葉の海へ」「桜の森の満開の下」「おぐりとてて」「天守物語」に出演。また、宮澤賢治作品の語り芝居「セロ弾きのゴーシュ」「よだかの星」はロングランを続けている。

伊澤 美樹（いさわ みき）／ナレーション



宮城学院高等学校在学中、高校演劇コンクールで著作『不思議な国のアリス』にて脚本賞を受賞し東北大会へ進出。宮城学院女子大学文学部日本文学科で古代史・民俗学を専攻し、在学中には劇団LQ150公演『BLUE CITY』で主役を務めるなど、演者として舞台経験を重ねる。語り部としては東北地方を巡り活動し、全国語り部大会において二度東北代表に選出される。『利府町民劇団ありのみ』では2017年より10作品の脚本・演出を担当。日本作家協会主催「伊達の劇王」コンクール優勝。

中澤 香織（なかざわ かおり）／声楽（ソプラノ）

上野 彰子（うえの あきこ）／ピアノ伴奏

【第3部】 コンサート「晩翠の詩情をつなぐ」

宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター認定演奏員

中澤 香織（なかざわ かおり）／声楽（ソプラノ）



宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。サンタキアール国際アカデミーマスタークラスに参加し、ファイナルコンサートに出演。同アカデミーよりディプロマを授与。イタリアでL. サッコマニ、M. アウグスティニの各氏に発声法を、D. モーリ氏にオペラ演奏法を学ぶ。オペラ《ラ・ボエム》《トスカ》《カルメン》他に出演。現在、宮城学院女子大学音楽科非常勤講師、常盤木学園高等学校音楽科非常勤講師。宮城県内の合唱団の指導やヴォイストレーナーとしても活動。

上野 彰子（うえの あきこ）／ピアノ伴奏



宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。ジュネーヴ音楽院卒業。読売新人演奏会出演。クールシュベール国際アカデミーにて、P. ドワイヨン、M. シルゲ、J. バレ、V. メルキ、S. リスレル各氏のマスタークラスを受講。国内外でソロやアンサンブルの演奏会に出演。これまでピアノを小梅ゆかり、松山裕美子、浅野繁、E. アタナソヴァの各氏に、室内楽をG.M. カイヤ、近代室内楽をJ. バレの各氏に師事。現在はソロの他、伴奏ピアニストとして活動。

庄子 三未（しょうじ みみ）／ピアノソロ



宮城学院女子大学学芸学部音楽科を卒業し、学長賞を受賞。京都フランスアカデミーにて優秀受講生・奨学生に選出され、エコールノルマル音楽院アーティストディプロマ課程に入学。レ・クレドール国際音楽コンクールで第2位、アミグダラ国際音楽コンクールで第1位を受賞。エコールノルマル音楽院アーティストディプロマ課程を最優秀成績で修了し、受賞者コンサートに出演。Festival Lille Clef de Soleil に招待され、ソロリサイタルを行う。これまでにピアノを松山裕美子、弘中孝、P. Bianconi に師事。室内楽をN. Patarcec に師事。

総合司会：鈴木 真紀（すずき まき）